

地域漁業学会 第63回大会スケジュール

開催日：2021年11月6日～7日

時間	11月6日(土)	時間	11月7日(日)			
			第1会場	第2会場		
9:00-11:30	理事会	9:00-9:30	波積真理	福井県奥越地域における半夏生鯖の食実態と人々の認識 林紀代美(金沢大学)	常清秀	広島カキ養殖産地を支えるフードチェーン・アプローチ： 公的管理の役割を踏まえて 山尾政博(中村学園大学短期大学部)・天野通子(愛媛大学)
11:30-12:00	総会	9:30-10:00		品質の見える化に対する消費者評価における個人差に関する分析—三重県鳥羽市「答志島トロさわら」を事例に— 山田二久次(三重大学)・青木雅生(三重大学) ・松井隆宏(東京海洋大学)		ブリ養殖におけるフードチェーン・アプローチ —EUHACCPの公的管理を事例に— 天野通子(愛媛大学)・山尾政博(中村学園大学短期大学部)
12:00-13:00	休憩		ミニシンポジウム	水産物卸売市場の今後：法改正とコロナ禍の影響を考える	-	-
13:00-16:00	シンポジウム 多面的視点から漁業地域活性化を考える —地理学からのアプローチ—	10:00-12:30		第1報告 ミニシンポの意図と解題 山下東子(大東文化大学)		
	第1報告 地理学からみた漁業地域活性化—主旨説明にかえて— 横山貴史(立正大学)			第2報告 データで見る市場法改正とコロナ禍の影響 藤島廣二(東京聖栄大学)		
	第2報告 市場とのつながりを意識した流通販売対応 —兵庫県南あわじ市南淡漁協を事例に— 前田竜孝(関西学院大学・研)			第3報告 全国の水産卸売事業者への影響 網野裕美((一社)全国水産卸協会会長)		
	第3報告 北海道南西部におけるナマコブームへの 多様な適応・活用戦略 崎田誠志郎(国立民族学博物館)・松井 歩(弘前大学)			第4報告 仲卸業者への影響と今後の課題 近藤信義((株)サンフード) 討論 コメンテーター 浅沼進 (市場流通ジャーナリスト・元東京海洋大学大学院教授)		
	休憩(15分間)			12:30-13:30		
	第4報告 京都府伊根浦における地域振興の試み —移住者とガイドツアー— 河原典史(立命館大学)	13:30-14:00	古林英一	水産加工残滓処理の持続可能性 —規模・範囲・密度・速度の経済性の視点から— 山下東子(大東文化大学)	北窓時男	Web操業日誌を用いたタイ国ジュゴン保護区における 漁業実態調査 阿部朱音(京都大学大学院情報学研究所)・市川光太郎(京都大学フィールド科学教育 研究センター)・秋道智彌(総合地球環境学研究所)・荒井修亮((国研)水産機構水産大 学校)・Kongkiat Kittiwatanawong(ブーケット海洋生物学センター)・Fuangrada Sarasit(バトゥッテ小学校)
	全体討論(60分間)	14:00-14:30	新養殖魚「緩スマ」の事業化に向けた現状と課題 竹ノ内徳人*・金尾聡志*・西永豊光*・西崎虹登** (*愛媛大学南予水産研究センター、**愛媛大学大学院農学研究所)	小規模金採掘地域における食物摂取と沿岸資源利用 —フィリピン・ビコール地方の村落を事例として— 池口明子(横浜国立大学)		
16:00-18:00	オンライン懇親会 (シンポジウム終了後)	14:30-15:00	濱田英嗣	北米水産物市場の動向からみる愛媛県産養殖魚の輸出戦略 ～アフターコロナを見据えた北米市場への進出～ 西永豊光*・金尾聡志*・西崎虹登**・竹ノ内徳人* (*愛媛大学南予水産研究センター、**愛媛大学大学院農学研究所)	増崎勝敏	青森県小型イカ釣り漁業の経営効率性分析 神山 龍太郎(水産研究・教育機構水産資源研究所) ・宮田 勉(国際農林水産業研究センター)
		15:00-15:30		養殖マダイ販売実績からみるA漁協の戦略的対応 —コロナ禍における販路開拓と輸出戦略— 西崎虹登*・金尾聡志**・西永豊光**・竹ノ内徳人** (*愛媛大学大学院農学研究所、**愛媛大学南予水産研究センター)		カニ漁業に携わるインドネシア人技能実習生の実態 広尾克子(元関西学院大学大学院社会学部)

*一般報告報告は、報告20分、質疑5分、報告者の交代5分で行います。